

平成27年度 第2回 尼崎市社会教育委員会議について

標題の会議が、次のとおり行われましたので報告します。

1 と き

平成27年6月26日(金)午後3時30分から午後5時30分まで

2 と ころ

尼崎市庁舎北館3階教育委員会室

3 出欠状況

- (1) 出席委員 8名
- (2) 欠席委員 4名
- (3) 出席職員 社会教育部長以下8名

4 会議成立の報告

司会者より定数12名中8名が出席し、会議が成立している旨の報告があった。

5 会議内容

協議事項

議題1 平成26年度社会教育委員会議の協議経過とまとめについて

昨年度の社会教育委員会議の協議内容等について、議事録に基づき事務局で「平成26年度社会教育委員会議の協議経過とまとめ」(案)の作成を行ったことについて、社会教育課長より説明を行った。(別添:資料のとおり)

内容としては、梅香小学校敷地複合施設の機能やあり方についての協議の方向性と主な協議内容、平成19年度 of 社会教育委員会議の提言の検証についての協議の方向性と主な協議内容、平成27年度の取組についてである。

説明後、委員に意見を求めたところ、疑義は無かったため、次回、教育委員会で「平成26年度社会教育委員会議の協議経過とまとめ」として報告を行う。

議題2 総合計画に係る社会教育関連施策と今後の取組について

総合計画に係る施策について、事業の進捗状況や達成度合い、事業の効果や課題などを点検・確認するための施策評価表について、事務局より説明を行った。

説明後、第1回目の会議での、事務局より尼崎市総合計画における社会教育部関連施策「02生涯学習と17地域の歴史」についての説明に基づき第2回会議では、今後、市民・事業者それぞれの立場からどのような取組や関わりができるのか、前回の協議事項である総合計画、市制100周年の流れを踏まえて協議を行った。

施策評価の基本情報について

展開方向 行政が取り組んでいくこと 平成27年度に向けた取組方針 これまでの取組の成果と課題 平成28年度に向けた取組方針、新規・拡充の提案に繋げる項目・改革・改善の提案につながる項目 市民・事業者が取り組んでいくこと。

「02 生涯学習 - 01・03」について、社会教育課長より、説明を行った。

02：生涯学習（生涯を通して学び、スポーツに親しめるまち）

展開方向

01：市民が主体的な学習や活動を支援するとともに、学習の成果を地域社会に活かすことのできる人づくり・しくみづくりを進めます。

03：生涯学習やスポーツ活動を通じて、生きがいつくりや地域での交流を促進していきます。

社会教育課・公民館・図書館関連事業について

〔委員からの意見等〕

- ・ 説明を受けた事業について、知らなかった事業内容が多い。図書館のブックオーナーズ制度等新たな取組みについて具体的にどのような事業なのか教えていただきたい。
- ・ 地域では、哲学カフェやブックカフェ・ビブリオバトルなどを行っているところもあり、本を読むというブームが来ているのではないか。図書館や公民館でそういうところを研究されたら面白いのではないか。
- ・ 活動する人のグループ化やコーディネーターの育成ということが言われていたが、若い人はグループ化を好まない。実行力のある人は一人でもやりたいことを立ち上げ、1回だけで終わる活動もやっている。今までのグループ化しようとする社会教育のやり方は馴染めなくなっているのではないか。
- ・ 市民が、学んだことを社会に活かしたい、繋がろうという意識は芽生えている。是非研究していただきたい。
- ・ 図書館が、最近目に見えて工夫をされていることがよくわかる。今後も、例えば畳の上で寝転んで本を読むなど、新たな発想で企画をしていただきたい。
- ・ 公民館でやっている市民大学について、数年前に知った。内容は多彩で多くの方が参加している人気の講座であるが、知らない人も多いのではないか。
- ・ 「あまナビ」情報誌が発行されて、情報を一覧して知ることができるのがとても良い。Vol. 2は情報としてさらに良くなっていると感じる。
- ・ 公民館の市民大学の講座は人気があり、受講者は、時間があって、何でもとにかく勉強したいという思いで受講されているが、そのあと、学んだことを地域に繋げているか、活かしているか、地域の活動をされているかと言うとそうとはなっていないのではないか。
- ・ 学んだことを地域に繋げているかということを確認するためには、受講者に感想を聞くだけでなく、具体的に「地域で、町会などの役をしていますか。何か活動をしていますか。」ということ聞いていかなければならなのではないか。現実には、地域で役をしている方は超高齢化しており、次の担い手が激減をしている。10年後にはどうなっているのか心配である。
- ・ 一方で、自分の学習に意欲のある元気なシニアがまだ多くいる。その方々を、趣味を広げてくださいではなく、また、興味を繋ぐだけではなく、地域活動に繋ぐことが求

められるのではないか。誰かがやらなければならない地域でのボランティア活動をやっていただけないかと思う。

- ・ 自身も市民大学を受講したが、受講生は知識欲はあるが、学んだことを地域に活かしたい、地域と繋がりたいという意識を持って受講されているとは感じられなかった。その後の地域の活動に繋がりがあのかどうかの追跡も必要ではないか。
- ・ 子ども会の役員をしているが、現状でいえば役員のなり手が無く、町会・子ども会が崩壊しているところも多くある。今地域団体と呼ばれているところの存続が難しくなっている。
- ・ 市民大学の受講者に、学びを地域で活かすことができるということを、是非伝えていただきたい。
- ・ 公民館や青少年センターでの活動者養成講座はあるが、地域の子ども会や団体の支援に繋がるような養成講座はないのではないか。例えば、子どもの発達や安全などを勉強していただき、自身の地域で活動できる人を育成していただきたい。

【事務局からの説明等】

- ・ ブックオーナーズ制度とは、今年度の新規事業で、尼崎の子どもたちが乳幼児期により良い環境の中で本に触れ、読書習慣が定着できるよう、絵本を中心に児童書を充実させることを目的としてブックオーナーを募集する制度である。図書館が作成した絵本6~7冊からなる「パック」(1口1万円)を選んでいただき、提供いただいた本には、ブックオーナーズ制度によって寄贈いただいたことがわかるよう、本の最後のページにブックオーナーズ制度のスタンプを押したうえで、図書館や公民館等に配架するというものである。
- ・ 図書館では、利用者の少ない成人層(30歳~59歳)を対象として、特別講座の開催をして関連本の紹介などを行い、図書館利用の裾野を広げていきたいと考えている。
- ・ 今、学びの成果を活かす取組がまさに求められている。特別支援ボランティア養成講座や歴史体験学習ボランティアは、活動していただくことを目的として取り組んでおり、実際に活動成果として繋がっている。公民館では新たに村野藤吾設計の大庄公民館ボランティアガイド養成講座を予定している。
- ・ 事業企画については、教養だけではなく、そこに暮らす住民の責任として地域課題の部分に誘導することが大切だと考えている。
- ・ 受講者の追跡調査については、公民館としても何を目的に・何をきっかけに講座に来られているのか知りたいところである。実際の情報収集としては、アンケートを取ったり、職員が講座に入って、直接話を聞くなどしている。受講後の把握は難しいところである。
- ・ 地域活動コーディネーター養成講座修了生の中から、公民館事業の市民企画委員が生まれ、これまで地域の方に喜んでいただけるイベントを数回、企画実施してきた。現在は、ご自分たちの経験から何かを教えたり、ご自分の住んでいる地域に着目した取組みができないかという思いが芽生えている。そのような思いを丁寧にサポートして行きたいと思っている。

- ・ 地域デビューを取り上げた講座を実施したことがあるが、定年退職後の方の中には地域で何かしたいと思っている方がいて、手応えを感じているところであり、ターゲットを絞って、地域デビューをお手伝いできる取組みを行なっていきたいと思っている。また、受講生の方が活躍できるステージをコーディネートしていきたい。地域の特色を知り何が求められているのかを敏感にキャッチすることも必要だと感じている。

「02 生涯学習 - 02」について、スポーツ振興課長より説明を行った。

02：生涯学習（生涯を通して学び、スポーツに親しめるまち）

展開方向

02：健康の保持・増進を図るため、気軽に運動やスポーツを楽しめる環境づくりに取り組みます。

スポーツ振興課関連事業について

〔委員からの意見等〕

- ・ 情報発信「あまスポ」について、知らなかった。フェイスブックとホームページの内容の違いはなにか。
- ・ 今子どもたちの中では、ボール投げができない子がいる。外で遊ばなくなり体の動きが鈍くなっている。子ども達が遊びながら体力がつくような場をいろいろ企画していただきたい。
- ・ 今の若いお母さんは、パソコンではなくスマートフォン（フェイスブック等）を利用して、情報を選択して参加されるので、事前にいろいろな企画情報を発信していただきたい。社会教育委員としても情報を伝えて行きたい。
- ・ 体力づくりモデル事業の、対象とする子どもの年齢はいくつぐらいを考えているのか。
- ・ 子ども会では、夏休み早朝にラジオ体操を実施しており、そこでは、ラジオ体操の後子ども達と一緒に遊ぶ時間を大切にしている。子ども達にとって遊びは大事であり楽しめるよう頑張っているが、人間的にも体力的にも大変である。遊びやスポーツの指導など支援していただける方がいればとても有り難い。
- ・ 夏休みのラジオ体操については、各学校によって取組が異なっており、休止状態や無くなっているところも多くあるため、PTA 連合会の協力を得て、ラジオ体操の現状を把握してこれからの施策に活用するというのも面白いのではないか。
- ・ 働く世代を巻き込むには、子どもをからめる必要がある。
- ・ 公園では、お年寄りが毎日ラジオ体操をしている。その方々を巻き込んで世代間交流も考えられるのではないか。
- ・ 幼稚園・保育所でも、園児のお稽古事（ダンス・水泳等）をしている子と、していない子との差が激しい。園によっては体育指導に力を入れて指導員を配置しているところもあり、取組にかなりのバラつきがあるのが現実である。そういったところにスポーツ推進員が年に何度かでも活動していただければ、また、そこでデータが取ればそれも利用できるのではないか。
- ・ 子ども達が体育嫌いにならないように、自信が持てるように、何等か支援できる出前

的な事業があればよいと思う。

〔事務局からの説明等〕

- ・日々のニュース（大会結果等）はフェイスブックで、月間的に事業の報告や事業の予定などはホームページでお知らせしている。
- ・こどもたちの体力づくりモデル事業は、小学生を対象としているが、スポーツ推進計画を審議会で検討した際、委員から保育所・幼稚園児から小学生に繋いでいくことの重要性が挙げられていたので、そこを検討していかなければいけないと考えている。
- ・スポーツ推進委員はスポーツ要請指導を行っているので、ラジオ体操の場で活動できるか検討したい。

「17 地域の歴史 - 01・02・03」については、歴博・文化財担当課長より説明を行った。

17：歴史遺産を守り活かすまち

展開方向

- 01：文化財や歴史資料等の地域資源を保存・活用するとともに、地域の歴史や文化財に関する情報を市内外に発信します。
- 02：地域の歴史に関心を持つ市民の学習機会や場所の充実など、ともに学びあえる環境づくりを進めます。
- 03：住んでいる地域や尼崎市への愛着や誇りが育つよう、地域や歴史や文化財等の魅力をわかりやすくしっかりと伝えていきます。

〔議長より〕

今回は協議をする時間が無かったため、次回の会議で、市民の方が、地域の歴史に関心を持ち、住んでいる地域や尼崎市への愛着と誇りを育てる事業企画を、委員の皆さんからご提案いただきたい。

6 その他報告事項等

- ・梅香小学校敷地複合施設の現況報告について、社会教育課長より現況（設計図）について説明を行った。
- ・新規委員の委嘱状交付式と挨拶
- ・近畿地区社会教育研究大会（奈良大会）の案内について
- ・次回は引き続き地域の歴史についてご協議いただくが、本日は時間も押したため生涯学習についてもご意見をいただくこととする。

以 上